

明けましておめでとございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、町行政に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の10月に行われた町長選挙にて、引き続き町政の重責を担わせていただくこととなり、新年を迎え、心新たに「人・心・自然、やさしさ」と出会いを創造する町「箱根」の実現を目指し、愛する箱根のさらなる発展に全力を傾注してまいります。

さて、日本経済を取り巻く環境は、依然として超円高問題やTPP問題など、全く予断を許さない状況にあります。また、竹島や尖閣諸島における領土問題に端を発した韓国、中国からの外客が大幅に落ち込むなど、観光を取り巻く環境も依然として厳しさが続いております。

そのような中、昨年9月24日に、箱根火山とその周辺地域から成る「箱根ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。箱根火山は、世界的にみてもたいへん有名な火山で、豊かな自然と密接した歴史があります。町民の皆様がこの地域の魅力を再発見でき、観光客にはさらなる感動を提供するなど、箱根ジオパークが常に新たな発見のある観光地になることを目指してまいりたいと思います。

東日本大震災からまもなく2年になります。依然として被災地の復興が進まない中ではありますが、本町においては昨年、大規模災害への備えとして、広域的な連携の他、遠隔地

新年、明けましておめでとございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心より喜び申し上げます。

日頃より町政並びに町議会に對しまして、温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

今、国の政治・経済は先行き不透明な状況であり、地方分権・地方主権改革が進む中、地方自治体を取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。町議会といたしましても、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、町政の伸展と住民福祉の向上のために努めてまいります。

さて、昨年は、いまだ残る震災の影響や、尖閣諸島をめぐる日中政府対立の影響などによる中国人観光客の激減、また、首都圏近郊の大型施設の開業や新東名高速道路の開通などにより、本町の基幹産業である観光を取り巻く情勢は厳しい状況でありました。

こうした中、6月には姉妹都市・北海道洞爺湖町と「大規模災害時等における相互応援協定」の締結、7月には静岡県三島市との「観光連携・交流に関する協定」の締結、さらに9月には「箱根ジオパーク」誕生という明るい話題もありました。

これを機に、箱根の魅力をさらに発信していき、観光の活性化および町のさらなる発展のために寄与できるよう、皆様のご協力をいただきます。また、ともに取り組む所存でございます。

との相互支援体制を確立するため、姉妹都市である北海道洞爺湖町と「大規模災害時等における相互応援協定」を締結しました。すでに5つの災害関連の協定を近隣市町村と締結しており、近隣市町村、そして遠方の洞爺湖町との協定を軸とし、ともに生き抜く災害に強いまちづくりを今後も進めてまいります。

地方財政を取り巻く環境は、今まで経験したことのない、大変厳しい状況となっております。町の財政もいまだ好転を見込めない中ではあります。昨年スタートいたしました、箱根町第5次総合計画後期基本計画に沿って、着実に取り組んでまいりたいと思っております。

輝かしい歴史、豊かな自然を誇れる観光地「箱根」として、観光客数200万人、宿泊客数500万人、外国人客数100万人へ向け、今までも、そしてこれからも箱根を愛してくださる皆様のご期待に添えるよう、私をはじめ職員一丸となり、一層の努力を重ねてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって幸多い年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

四期目を迎えた山口町政は「国際観光地へのさらなる飛躍」「環境先進観光地箱根へ」「防災そして減災へ」「いきいきはつらつ元氣な町」「次世代を担う力を育む箱根教育」「行政改革と広域行政」を掲げ、あらゆる施策において先進性を加味し、他の模範となるべく施策展開するとしております。

議会といたしましても、町民の皆様の声を真摯に受け止め、地方が抱えるさまざまな課題の解決に向けて一層の努力を重ねるとともに、現在、町議会の改革・活性化に向けた箱根町議会基本条例の策定に向け取り組んでおり、より身近な議会、開かれた議会を目指して、町民の皆様のご期待に添えるべく、誠心誠意努力してまいります。

最後になりましたが、町民の皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸と限りなくご発展を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



箱根町議会議長  
折橋尚道

箱根町長  
山口昇

